



# つながれ KENPOKU

令和8年8月31日 発行

今回は、福島市学習センター訪問の第2弾として蓬萊学習センターと渡利学習センターの取組についてお伝えします。

## 福島市学習センター訪問

7月17日 蓬萊学習センター      7月31日 渡利学習センター

### 【蓬萊学習センター】

### 【学び集い、絆を深める拠点へ】



多様化する学習ニーズに応じた事業を展開し、地域住民の「きずな」づくりの拠点を目指しています。高齢者世代が活発に活動しており、「蓬萊寿大学」や「蓬萊アカデミー」では役員会を中心に主体的な学びや相互交流を深めています。また、健康運動教室や「ICT セミナー」は募集後すぐに満席となるなど高い人気を集めています。少年教育では、福島大学の教授や学類生らの協力を得て体験的な学びを提供する「ほうらい科学クラブ」を開催。小・中学生の放課後利用も多く、子どもから高齢者まで幅広い世代に親しまれています。毎年10月に開催される地区文化祭は例年千人以上が訪れ、学習成果の発表や作品展示を通して団体間の連携・交流が図られており、地域密着型の生涯学習の場として賑わっています。

### 【渡利学習センター】

### 【地域で支える子育てと世代交流】



地域資源を活かした「地域総がかりの子育て支援」に注力しています。新規事業「わたりコアラひろば」では、地域の子育て支援センターへ直接出向くアウトリーチ型支援を実施し、ニーズの把握や相談相手の少ない保護者へのきめ細やかなサポートを行っています。少年教室「わんぱくキッズ」では日本赤十字社等と連携した「防災キャンプ」など、今日的な課題に応じた多彩な体験型学習を展開しています。さらに、地域学校協働本部事業や近隣高校との連携を進め、高校生ボランティアが文化祭の運営補助等で活躍し、生徒自身の地域理解や自己肯定感を高める貴重な機会となっています。ユニバーサルデザインを取り入れた快適な施設環境のもと、「だんごさし」などの伝統行事体験を通して多世代が交流する学びの拠点です。